



今月はABIL（アビル）ヒーターをご紹介します！

こんなお悩みありませんか？

<ケース1>

- ✓ 入口付近の生育が悪い。
- ✓ ハウス内で生育速度がバラつく。

<ケース2>

- ✓ 収量を増やしたい！
- ✓ 根張りを良くしたい！

<ケース3>

- ✓ 暖房を導入したいけど高価な設備は難しい…
- ✓ 燃料費が気になる…



そんなあなたに！

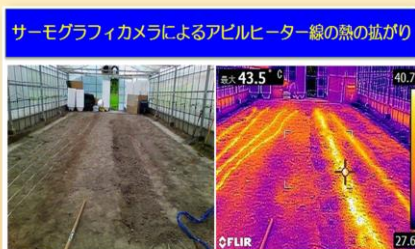
アビルヒーターがおすすめ!!



アビルヒーターは特殊素材を使用した局所加温装置です。AC100Vコンセントに挿すだけで使用でき、線全体が均一に温まるので温度ムラが少ないです。また、シリコンで被覆されているので防水性に優れ、従来品に比べて切れにくく高耐久！数シーズンに渡って繰り返し利用が可能です。

1. ハウス内の不均一性を改善！

入口付近や陰になる場所など、作物の生育が不均一になりやすい場所をピンポイントで温めることができます。



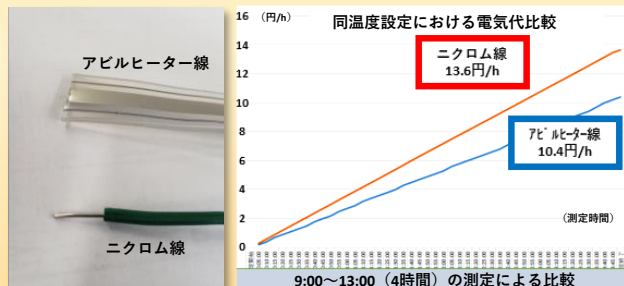
2. 局所加温で作物の生育を活性化！

土壌や培地を温めることで根の活性が高まるため、太く長い根が育ち、作物の生育を促進します。



3. イニシャル、ランニングコストが安い！

設備がコンパクトなので、暖房機に比べ安価に導入できます。また、ヒーター線の断面積が大きく、従来の電熱線（ニクロム線）と比較して電気代を2/3に抑えることができます。



お客様の声

- 土壌加温で収量が15%増加。(トマト)
- 日当たりの悪い区域でもアビルヒーターによって生育が改善された。(イチゴ)
- 生長が早く、収穫サイクルが短くなったことで収穫回数が増えた。(春菊)

※ 個人の感想です。収量や品質を保証するものではありません。



これからどんどん冷え込みが厳しくなる今こそ、ハウス内の温度環境の改善に、設置が簡単で作物の生育促進が可能なアビルヒーターの導入を検討してみたいはかがでしようか？



最低気温が10℃を下回るようになり、冬に合わせた環境制御が必要な季節になってきました。


作物の光合成産物の転流は比較的高い温度で促進されるため、今の時期、夕方になると日の入りより早いうちにカーテンを閉めるようにしています。これにより、ハウス外への熱放出を遮断して内部に熱を留めることで、エネルギーを節約しつつ、前夜半のハウス内を果実への転流促進に必要な温度に保つことができます。



内張りフィルム

この頃では暖房機による早朝加温も始めました。生育温度と植物生理の関係性と省エネルギーのバランスを意識して、トマトの生育に最適な栽培管理を目指していきます。



アンテナ掲示板 

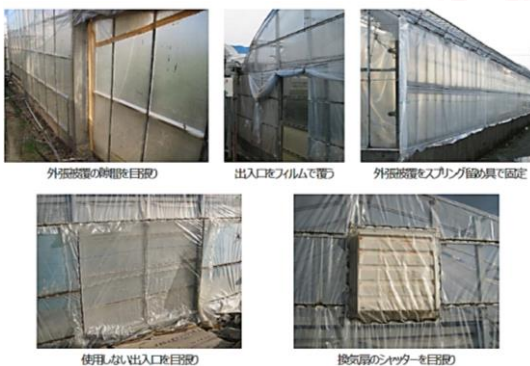
施設栽培における省エネルギー化

農林水産省生産局長名により施設園芸での省エネルギーに向けた取組強化の依頼文が出されています。そこで、すでに通知されています「施設園芸省エネルギー生産管理マニュアル(改定2版)」より点検・対策のポイントを下記にまとめましたのでご覧ください。

(1) 外張り被覆材

- ✓ 外張りの被覆材に破れや隙間はありませんか？
- ✓ 天窓や出入口に破損や隙間はありませんか？
- ✓ 被覆資材の留め具は緩んでいませんか？
- ✓ 冬の間、使用しない換気扇シャッターや出入口、側面巻き上げフィルムは目張りをお勧めします。

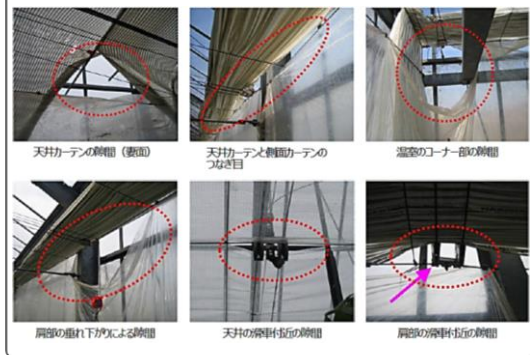
<外張り被覆の隙間対策 例>



(2) 内張りカーテン

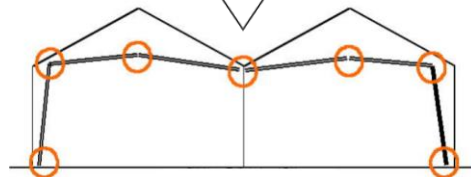
- ✓ カーテンに隙間はできていませんか？
(例) 側面カーテン裾部、出入口付近、妻面、側面と天井面のつなぎ目、屋根の谷部など
- ✓ カーテン裾部は固定されていますか？

<内張りカーテンの隙間 例>



農林水産省では、施設園芸の生産現場における省エネ化に向けた取り組みの推進を目的として、「施設園芸省エネルギー生産管理マニュアル(改定2版)」などを公開しています。上記以外にも暖房機やセンサー、温度管理などについても紹介されています。これから気温がますます下がっていきますので、ご自身のハウスでエネルギーのロスがないか、ぜひ一度確認してみてください。

- ◆ 農林水産省「施設園芸省エネルギー生産管理マニュアル(改定2版)」
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/ondanka/pdf/manyual-kaitei2.pdf>
- ◆ 農林水産省「施設園芸省エネルギー生産管理チェックシート(改定2版)」
<https://www.maff.go.jp/j/seisan/kankyo/ondanka/pdf/check-kaitei2.pdf>



内張りカーテンにおいて隙間がしやすい部分

引用資料：施設園芸省エネルギー生産管理マニュアル(改定2版)

ランナーvol.37 2020年11月発行 掲載記事の無断転載を禁じます。

発行所 株式会社 大仙 営業事業部

〒440-8521 愛知県豊橋市下地町字柳目8

[TEL]0532-54-6521 [FAX]0532-57-1751 [E-mail]mail.magazine@daisen.co.jp [登録]



※ メールマガジン配信希望の方は、右のQRコードよりご登録いただくか、上記のE-mailアドレスより空メールの送信をお願いいたします。